

第2学年の特別活動における1枚ポートフォリオの授業実践

Ⅱ. 前書き

2年生は、学校生活にも慣れ、自分ひとりでできるが増える時期であると共に、友だちや集団にも意識できるようになる。そこで、学級という集団の中で、安心できる居場所を作ったり、仲間と取り組み、やり遂げる達成感を持たせたりしながら、よりよい学級集団にしていきたいという思いを持って実践を行った。

本校では、校内研究において、学級力を高め、子どもたちにとって居心地のよい、安心して学習に取り組める学級集団、主体的に課題解決に向かう学級集団を築くことを目標とし、研究を進めている。学級力について、早稲田大学教職大学院教授の田中博之（2013）は次のように述べている。

学級力向上プロジェクトとは、子どもたちが学級づくりの主人公となって、目標達成力、対話創造力、協調維持力、安心実現力、そして規律遵守力からなる学級力を高めるために、学級力アンケートで自分たちの学級の様子をセルフ・アセスメント（自己診断・自己評価）することを通して、毎日の学習や遊びの中で意図的・計画的に取り組む実践的な仲間づくりの活動である。

本学級は、2年生になってから初めて学級力向上プロジェクトに取り組んでいる。1学期に取り組みをする中で、自分ひとりでなく、班で頑張ったり、クラス全員で頑張ったりすることができるように「個」から「集団」へ意識を向けるように指導してきた。そこで、2学期には1学期の自分やクラスのレーダーチャートをもとに、新たな目標に取り組ませたいと考えた。2学期が始まってすぐに大きなイベントである運動会がある。運動会の取り組みでは、最後まで話を聞いたり、静かに早く並んだり、友達と助け合って行動したりする姿が期待できる。そのため、運動会は、子どもたちが大きく成長することができる機会である。学級力向上プロジェクトと関連付けて取組を行うことで、さらに子どもたちの力を高めることができると考えた。

Ⅲ. 実践の内容

1. 題材名 「レベルアップ大作戦～学級力向上プロジェクト～」

2. 題材について

「レベルアップ大きくせん」は、学習指導要領の内容（1）ーア「学級や学校における生活上の諸問題の解決」と（2）ーア「希望や目標を持って生きる態度の形成」を受けて設定した。

学級力向上に向けて、4月から取り組んできた。学級力アンケートは、6月上旬に第1回アンケートをとり、1学期末に第2回アンケートをとった。図1の結果から、子どもたちから、学級力レーダーチャートの「聞くしせい」と「あんしん」の力を上げたいと声が上がった。「聞くしせい」について、「聞き方チャレンジ」を1学期に行った。班ごとに取り組み、最後まで話を聞けた班はご褒美がもらえるという取組である。取組によって、班ごとに声をかけ合い、聞くことへの意識が高まったと感じる一方で、まだ意識しきれない子が目立ってしまったと感じる。「聞くしせい」は、前回よりも得点が伸びたが、2学期も意識を持たせて取組を進めている。「あんしん」については、1日のめあてを「ふわふわ言葉を使おう」にしたり、「ありがとうの花束」「ふわふわことばの木」の掲示物を使って視覚化したりして、「あんしん」への意識を高めた。また、子どもたちが肯定的な言葉を使ったり、思いやりのある行動をしたりした際に、教師が言葉をかけ、子ども

たちへの勇気づけを行った。その結果、「あんしん」も前回よりも得点が伸びた。2学期も継続して取り組んでいる。

前回の結果から得点が大きく下がってしまったのは、「学しゅう」「はつ言」である。「学しゅう」について、1学期は授業中の無駄口が目立ってしまった。子どもたち自身も自覚し、自分たちの課題としてとらえていると感じる。また、「はつ言」については、進んで自分の考えを言おうとしている子どもが固定化している。「はつ言」に対して個人差が出てきていることも、クラスの課題である。

そこで、2学期には運動会を通しての取組、運動会後の取組を通して、はつ言や聞くしせいを中心に学級力向上を目指していきたい。1学期の取組も続けながら、子ども自身が目標を決めて取り組むことができるように、1枚ポートフォリオを活用した。

そして、3学期には、学級の課題と向き合い、改善し、3年生に向けて取組を進めていきたい。

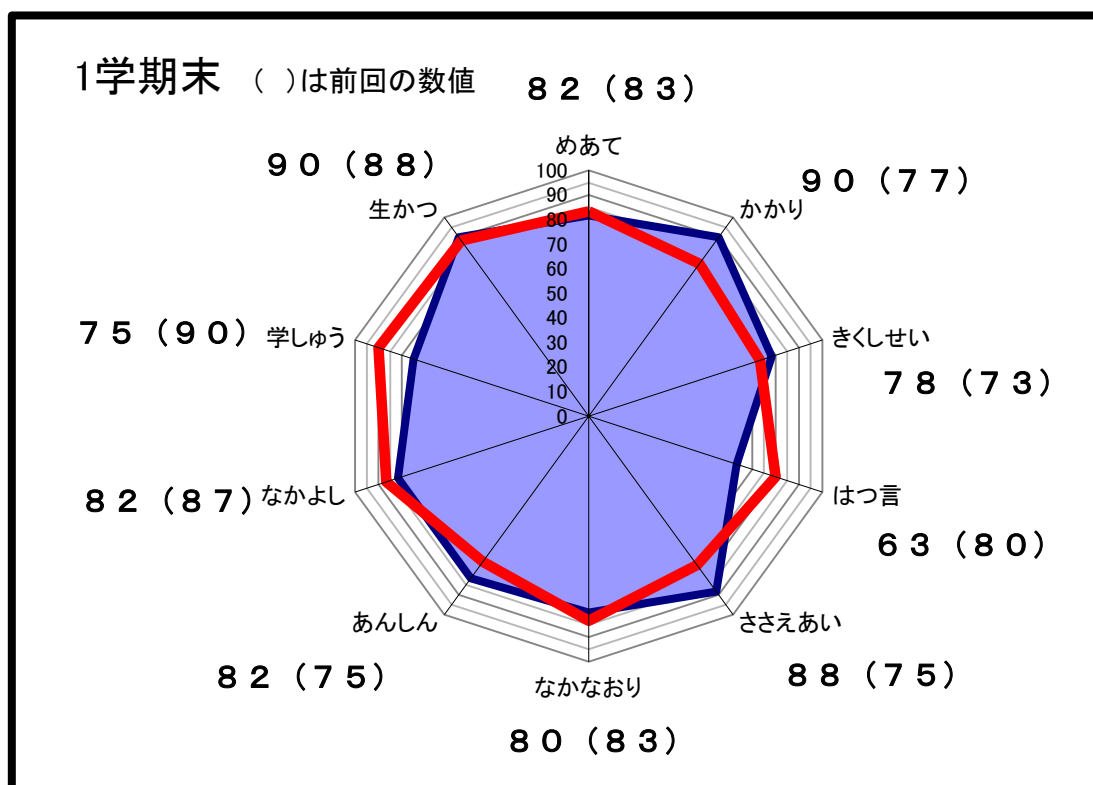


図1

3. 本部会の研究の関わり

○1枚ポートフォリオを活用し、自己の課題を捉え、解決策を考える。また、自己評価や相互評価を取り入れる。

○教師の肯定的な言葉かけによって、子どもの意欲を高め、子どもの変容を見取っていく。

児童	教師
・学習前と学習後に、学級力アンケートをとる。その記述を比較することで、自分の成長・変容が感じられる。	・学習前・学習後の児童の成長・変容を見取る。
・運動会の取り組み練習の後に、毎回できたことや頑張りたいことを書き、振り返りをす	・取組中の児童の成長を見取る。 ・児童の見取りをし、児童の支援を行う。

る。 ・毎日振り返りをする事で、練習に対する達成感を味わったり、課題を見つけたりする。	
・教師の肯定的な言葉かけによって、練習への意欲を高めたり、自分の成長を感じたりする。	・ポートフォリオにコメントを書いたり肯定的な言葉かけを行ったりして、児童の練習への意欲づけや勇気づけをしていく。



4. 児童の実態

男子 12 名，女子 9 名，計 21 名の学級である。元気で何事にも積極的に取り組むことができる。4 月に 2 年生になり，1 年生に学校案内したり，1 年生と遊んだり，下級生に対する意識が芽生え，学年が上がったことへの自覚が生まれてきた。また，支度や着替え，係活動や当番活動等，自分たちだけで声を掛け合って取り組む姿が多く見られた。素直で友達思いの児童も多く，肯定的な言葉を使うことを意識して生活することができている。

しかし，友達に否定的な言葉を言ったり，時間を意識して行動できなかつたり，授業中の発言する子に偏りがあつたりと，改善が必要な部分も見られる。

また，勉強が嫌いで，離席をしたり教室を飛び出したりしてしまう児童が 1 名いる。その児童に対してクラスの子どもたちは，教室に戻ってくると「おかえり」と言ったり，学習に参加できないときには「A くん絵が上手だから，絵を描いて見せて」と言ったりと優しい言葉かけができている。教師や子ども同士の関わりの中で，A 君も気持ちの切り替えができることも見られるようになった。学級力の取り組みの中で，さらに A くんも「がんばってできた」という達成感を味わせ，学習にも意欲的に参加させていきたい。

5. 2 年 2 組学級力向上プロジェクトの年間計画及び経過

時期	内容
4 月	スマイルタイム① ・学年目標をもとに，どんな 2 年 2 組にしていくか話し合った。
5 月	第 1 回学級力アンケート スマイルタイム② ・アンケートの結果をもとに，クラスの良い点と課題点を話し合い，1 学期の取組を決定した。1 学期は「聞くしせい」と「あんしん」について取り組んだ。「聞くしせい」は，班ごとに最後まで話を聞いたらドラえものの秘密道具がもらえるという取組をし，「あんしん」では，友だちにしてもらってうれしかったこと，言われて嬉しい言葉を紙に書いた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><ありがとうの花束></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><聞き方チャレンジ></p>  </div> </div>
7 月	第 2 回学級力アンケート

	・アンケートの結果，1学期に取り組んだ「聞くしせい」「あんしん」の力が少し高まった。しかし，「学しゅう」「はつ言」については下がってしまい，今後の課題とした。
8月	スマイルタイム③（本時） ・1学期の取り組みの結果から，2学期の高めたい力と運動会に向けての目標を決める。
10月	第3回学級力アンケート スマイルタイム④ ・運動会を終えて，取組の反省と成果を確認し，次の目標を決める。
12月	第4回学級力アンケート スマイルタイム⑤ ・2学期の振り返りをする。
1月	スマイルタイム⑥ ・3学期の目標を決める。
3月	第5回学級力アンケート スマイルタイム⑦ ・1年間の成果と課題を話し合う。

6. 題材の目標

- クラスや自分の課題を考え，めあてを決めることができる。【関心・意欲・態度】
- 自分や友達の頑張りをを見つけることができる。【思考・判断】
- 毎日の振り返りの中で，自分が頑張ったことを書くことができる。【表現・技能】

7. 本時の活動

- (1) 日時 平成29年8月30日（水）5校時（2：00～2：45）
- (2) 場所 山梨市立日下部小学校 2年2組教室
- (3) 本時の目標
 - 運動会を成功させるために，自分が頑張りたいことを考える。【関心・意欲・態度】
- (4) 展開

	主な学習内容	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
導入 10分	1. 第2回学級力アンケートの結果発表 (1学期末の結果発表) 2. アンケートの分析をする。 ・学しゅうとはつ言が下がった。 ・ささえあいが上がった。	・1学期のレーダーチャートに関心を持たせ，どの力が伸びたかを確認させる。 ・前回の結果から，取組をしたことによって数値が上がったことを確認する。	・1学期を振り返り，クラスのいいところや課題について関心を示している。 【観察】
展開	3. 昨年の運動会のスライドを見る。	・運動会への取り組みの意欲を持たせる。	

25分	4. めあてを提示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の大きな行事である運動会と合わせて取組をすることで、学級力を向上させていくことを理解させる。 	
うんどう会をせいこうさせるために がんばりたいことを 考えよう！			
	<p>5. 運動会練習で大切なことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばやくこうどうする。 ・話をしっかり聞く。 ・きょうりょくしあう。 <p>6. クラスで高めたい力を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ささえあい ・はつ言 ・めあて <p>7. 出た意見から高めたい力を1つか2つ決定し、ポートフォリオに書く。</p> <p>8. クラスの高めたい力について、自分の頑張りたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわことばをつかう。 ・1年生にやさしくする。 ・きょうりょくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの力を高めるために、新しいめあてを決めることを理解させる。 ・運動会練習の具体的なイメージを想像させる。 ・さらに高めたい力や伸ばしたい力を考えさせる。 ・運動会の練習の中で高められる力を考えさせる。 ・高めたい力を2つ決定させる。 ・運動会練習で、どんなことができるかを話し合う。 ・早く書けた児童に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級力向上のために、意欲的に考えたり、話し合ったりしている。【観察】
まとめ 8分	<p>9. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り方法の確認を知る。 ・先生の話 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会練習の日の帰りの会で振り返りをすることを伝える。 ・本時の児童の頑張りを認め、みんなで決めた高めたい力について励まし、みんな 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで決めた取り組みについて頑張ろうという気持ちを持っている。【観察】

		なで頑張って運動会を成功させようという意欲を高めさせる。	
--	--	------------------------------	--

8. 本時の振り返り

○学級の課題を真剣に考え、運動会に向けてのめあてを決定することができた。

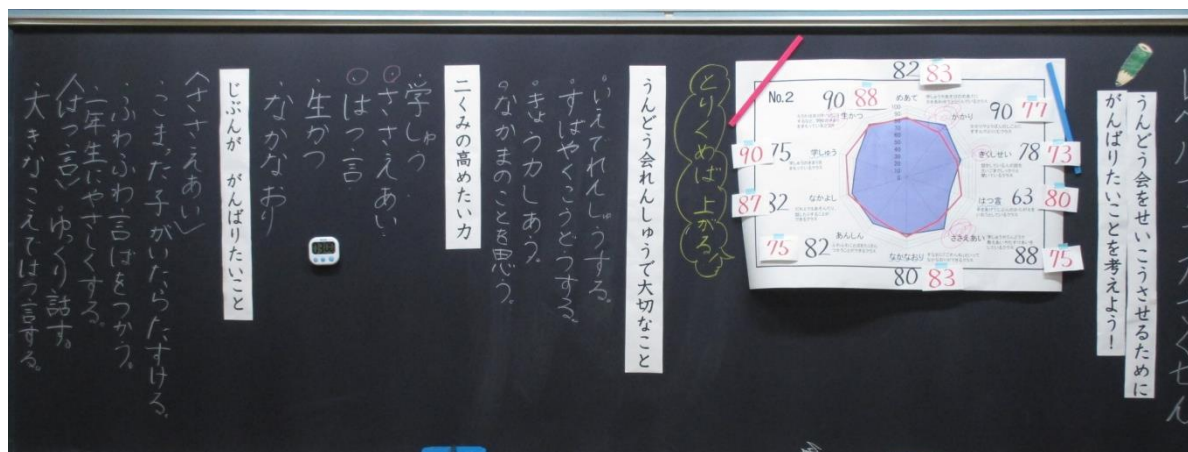
○ペア同士でよく考え、意見を出し合うことができた。

○クラスの高めたい力を「ささえあい」「はつ言」の2つに決定し、その力を高めるための具体的なめあてを決めることができた。

●2年生と言う発達段階から、運動会の取組と切り離して実践しても良かった。

●子どもたちが、「はつ言」に対しての具体的なめあてを考えるのが難しかった。

●レーダーチャートと、運動会での高めたい力を切り離して考えると、子どもたちも自分のめあてを考えやすかった。



9. 事後の活動

①振り返りの記入 9月12日～9月29日

運動会練習の初日から毎日、自分のめあてに対しての振り返りを帰りの会の時間に行った。自分のめあてに対して、できたことや頑張ったこと、明日頑張りたいことを書かせた。中には、「綱引きをがんばった」等、競技についてのことを書いている児童もいたので、自分のめあてについて振り返ることを記入する際に声かけした。その結果、次のような振り返りが挙げられた。

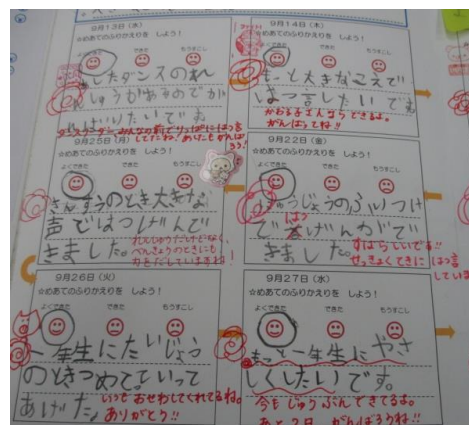
「1年生に大きな声でならびじゆんを教えられた。」

「2年生にもならびじゆんを教えられてよかったです。」

「今日、大玉おくりのときに、がんばれ！って言えてよかったです。」

「リレーのときに、さいかいだったチームをおうえんできた。」

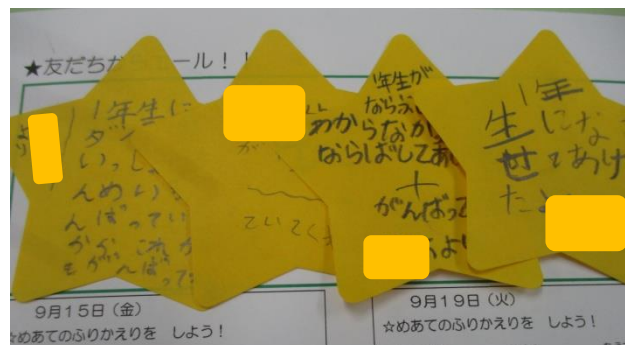
「あしたは、はつ言ができるようにしたいです。」→「はつ言が1回できてよかったです。」



②友だちとの相互評価 9月20日

運動会練習も半分を過ぎたところで、色別のグループに分かれて、友だちが頑張っていることや、こうすればよくなるというアドバイスを書かせた。児童は、友だちの頑張りをよく見ていて、同じ色の友だちに次のような温かいコメントを書くことができた。

「1年生に教えたりしていてよかったよ」
「1年生にダンスをいっしょうけんめい教えているから、これからもがんばってね。」
「あつまるときは、はしたたか時間があまるよ。」
「ならぶのがはやいね。」
「1年生にがんばっているところをほめててえらい！」



<児童の様子>



③運動会本番の振り返りと友だちとの相互評価 10月3日

運動会本番が終わり、学級活動で取組と本番を振り返って、思ったこと・できたこと・がんばったことを1枚ポートフォリオに書かせた。本番も、練習の成果が出ていたので、子どもたちも達成感を持って振り返りを行うことができた。

友だちへのコメントも、取組と本番を見ての頑張りを色の仲間に伝えることができた。

④第3回学級力アンケート 10月10日

運動会の取組が終わって、第3回の学級力アンケートを行った。結果の分析は次回に行く。次はどの力を伸ばしたいかと、伸ばすための取組について話し合う予定である。

図2のアンケートの結果、「あんしん」の項目以外の力が向上した。子どもたちがそれぞれ運動会の取組を通して、自分の目標を意識して頑張ることができたと感じる。取組を通して、自分の力と学級の力を伸ばすことができたという達成感や成就感を持たせながら、2学期後半も取り組んでいきたい。

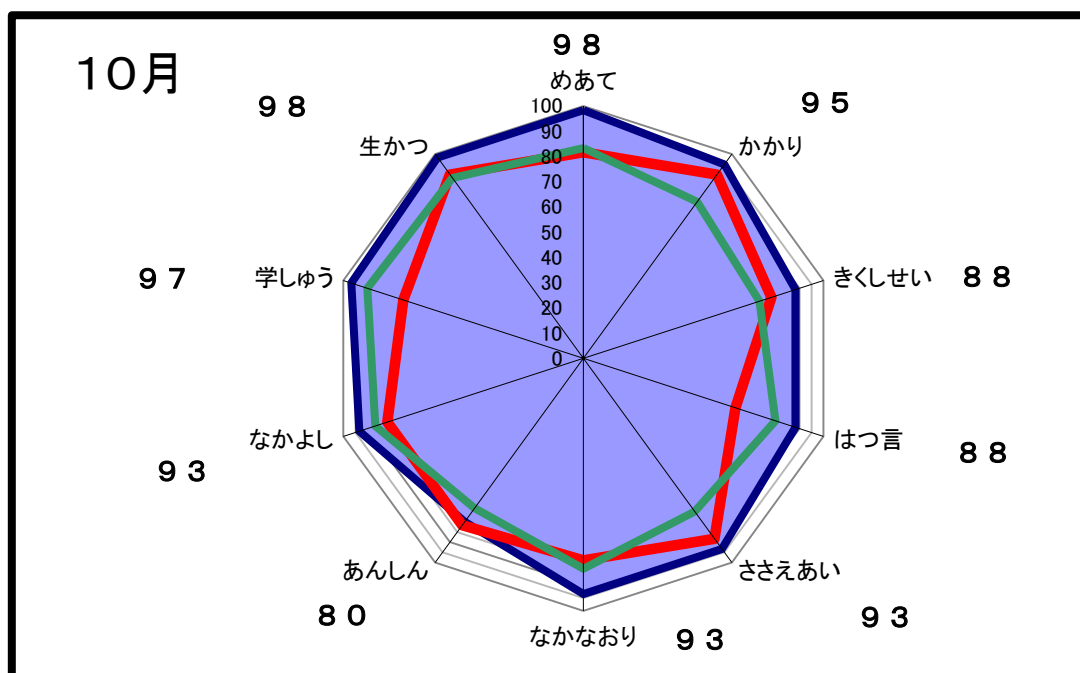


図 2

IV. 活動を通しての成果と課題

- 運動会練習中の取組期間が長かったが、子どもたちは毎日よくがんばり、振り返りを行うことができた。また、帰りの会という限られた時間の中で、一生懸命振り返りを書くことができた。
- 自分のめあてに「1年生に教える」「1年生に優しくする」と書く児童が多く、上級生としての意識を持って、一生懸命1年生にダンスや並びを教えることができた。2年生として、大きく成長することができたと感じる。
- ポートフォリオに振り返りを書いたり、友だちへのコメントを付箋に書いたり、書く活動が多かったが、子どもたちは主体的に取り組むことができた。
- 運動会練習で、子どもたちがどんなことをがんばっているのか、どんな思いで取り組んでいるのか見取りができた。「〇〇ができない」と悩んでいる児童に対しても、練習中に励ましの声かけをしたり、児童ができたときにその場で褒めたりしながら、児童の自己肯定感を高めることができた。
- 児童の振り返りに対して、教師が具体的、肯定的なコメントを記入するように努めた。その結果、教師のコメントを楽しみにしていたり、励みにしていたりする児童が多く見られた。取組期間が長かったので、コメント以外にもスタンプやシールも活用しながら、子どもたちの頑張りを認めることができた。
- 振り返りで、同じ反省を続けて書く児童が見られた。
- 書くことが苦手な児童にとって、ポートフォリオが負担にならないように、個別で児童に問いかけをしながら書かせる等、きめ細かい支援が必要であると感じた。
- A君は、運動会練習も参加できないことがあり、練習中の声かけや支援、ポートフォリオのコメントを通し、励ましの言葉を伝え続けた。しかし、練習も参加できないこともあり、振り返りも十分に行うことができなかった。

【参考文献】田中博之，2013，学級力向上プロジェクト「こんなクラスにしたい！」を子どもが実現する方法 小中学校編，金子書房